

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成20年7月分）

氏名(国内所属校)：祝迫直子（広島県立高宮高等学校）

現地勤務先：ジョグジャカルタ 語学学校 Alam Bahasa にて研修中

H20年4月9日～7月15日の出来事，活動の様子

Selamat(スラマツト)

インドネシア語で、「安寧な，安全な，平和な」という意味です。
いろんな言葉と組み合わせるとつかえます。

平成20年7月16日作成 第1号

広島県立高宮高等学校 地理歴史・公民科教諭 祝迫直子

青年海外協力隊（JOCV）

平成20年度 第1次隊

任国 インドネシア

職種 青少年活動

1 青年海外協力隊へ

広島県の皆さん、^{スラマツト シアン} Selamat siang!（インドネシア語で「こんにちは」の意味です）。私は広島県立高宮高等学校の祝迫直子です。平成20年度より現職教員特別参加制度で青年海外協力隊へ参加しています。4月9日から65日間、福島県で訓練を受け、6月23日よりインドネシアへ渡航して、現在語学研修中です。第1号である今回は、日本での隊員候補生として受けた国内訓練の様子と任国で受けている語学研修についてお話しします。

2 隊員候補生として 福島県二本松訓練所にて 派遣前訓練（65日間）

インドネシア語の教室での午後の自習風景（掲示物がたくさんあります。）



インドネシア・クッキングクラス



私が習っている Ibu Renni 先生と



まず，朝の集い終了後，朝食をとり，8時45分から語学訓練が始まります。1日5時間の授業を受けます。その後，約2時間は国際ボランティアに関する講義を受けます。訓練全体のおよ

そ7割は語学です。しかし、授業時間はとても楽しくて、あっという間に過ぎていきます。インドネシア隊は平成20年度第1次隊は10名です。2クラスに分かれて、いつも5人の隊員候補生と先生1名で勉強しています。宿題や先生が提案される自習課題の勉強法がとても適切で、少しずつインドネシア語の力がついていく感覚を実感しました。5月初めには中間テストがあり自分の弱い点が明らかになりました。以後、先生の提案で授業中に習った単語なのに日本語で話すとA4の紙1枚にその言葉や文をインドネシア語でひたすら書くというペナルティーが課されるようになりました。私は、1日に4枚のペナルティーをしたことがあります。おかげ様でしだいに日本語で話す量が減っていきました。

先生は、いつもバラエティーに富んだ授業をされます。私たちも自分のことを知っている単語を使って、つたないインドネシア語で毎日話さなければなりません。それから、言葉だけでなくインドネシア人の考え方、文化、風習を教えてください。自宅にも呼んでくださってインドネシア料理をごちそうしていただいたり、授業でクッキングクラスを開いてくださったり、私たちが各自で勉強したペーパーを快く見てくださったり、そして私たちに役立つと思われるものを惜しみなくどんどん持ってきてくれます。本当に短期間で、私たち一人ひとりの生徒の特長をつかんで、的確なアドバイスをくれます。月曜から土曜日まで1日5時間一緒に過ごす中で、厚い師弟関係が確実に育まれています。このことは、私自身が勤務する高校で、生徒のみんなと接している時にできなかったことなので反省しつつ、本当に教員としても学ばせてもらいました。最終試験に合格し、6月12日に訓練の修了式を迎え、隊員候補生から晴れて正式に青年海外協力隊の隊員となることができました。



訓練生活では、生活班のみんなと寝食を共にします。私の所属する2班の仲間（写真左）は、ヨルダン・マラウィー・カンボジア・フィリピン・ウガンダ・中国・ガーナ・チュニジアそして私がインドネシアへ赴任しています。出身地も任国での職種も年齢も異なる人々が、今回161名福島県に集まりました。訓練生活を通して、お互いのことを知っていくのです。一生つきあっていく仲間となるかもしれません。

3 隊員として 任国インドネシア ジョグジャカルタ での語学研修 約1か月

現在、私は語学学校(Alam Bahasa)にて、語学研修中です。

月曜日から土曜日の朝8時から午後1時まで、1対1でインドネシア語を学習します。最初の約2週間は生活に必要な会話を勉強していました。今は、職種に関する専門用語を勉強しています。一人の先生がずっと同じ生徒を担当するのではなく、いろんな先生に交替であたるようになっていきます。先生方は授業の進捗にかかわらず、私たち生徒の興味・関心には熱心に喜んでこたえてくれます。日記の添削も毎日行ってくれる上、授業中や午後語学学校へ残っていると、「折り紙を教えてほしい」「空手をやって見せてほしい」等、積極的に話かけてくださいます。これはすべて私たちが職種の関係上、人前で挨拶をしたり、率先して教えたりしないといけないことがわかっているので、自分の仕事があるにもかかわらず、私たちを楽しく鍛えて下さっているのです。人間味あふれる家族のような語学学校、そしてあたたかいホームステイ先の家族に囲まれながら、任地(スラウェシ島)へ向かう準備をしています。

